

吸入服薬情報提供書 (pMDI(エアゾール製剤)+スプレー) 【エアロチャンバー】

| | |
|-----------|------------------------|
| おくすりの名前 | 吸入回数 |
| 【エアゾール製剤】 | 1日 _____ 回 1回 _____ 吸入 |

《部位の名称》



- | | |
|------------|-----------|
| カウンター付き製品 | 目盛り付き製品 |
| ・アドエア | ・フルティフォーム |
| ・メプチンエア | |
| ・メプチンキッドエア | |

《残薬の確認方法》

- ・ポンペを押すたびにカウンターが減る
- ・カウンターが0になった回の吸入が終わりでしたら、次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・カウンターの無いものは専用の残量計又は残数確認シールで確認できる

《吸入映像》※1 (毎日の操作)



(約3分40秒)

*あなたのウイークポイントにチェック回していますので参考にしてください。

| 手 順 | | ポイント | |
|---------|--|------|--|
| ① 薬剤の準備 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 開封時は、試し噴霧を()回行う □ 薬剤セット時の操作はポンペの底が上になるように垂直に持ち行う □ カウンターで残量確認する(カウンター付のもの) □ スプレーと吸入器のキャップを外す □ 吸入器をよく振る(A) □ ポンペの底が上になるように垂直にスプレー(フローインジケータが上)へ取り付ける(B) | | <ul style="list-style-type: none"> ・垂直に持ち操作しないと正確な1回分量がセットされない |
| ② 息吐き | <ul style="list-style-type: none"> □ 無理のない程度に息を吐き一旦止める(スプレーの吸入口には息を吹きかけない) | | <ul style="list-style-type: none"> ・息吐きをしないとしっかり吸えない |
| ③ 吸入 | <ul style="list-style-type: none"> □ スプレーの吸入口をくわえ、ポンペを1回押し薬剤を噴霧後、口角を閉じ、3秒間ほどかけて、ゆっくり深く、最後まで息を吸い込む □ マスク使用時は顔に密着させ5回程度(15秒程度)呼吸を繰り返す(④⑤は不要) | | <ul style="list-style-type: none"> ・深呼吸するイメージで吸う ・1回の吸入ごとに1回噴霧する ・吸入に合わせ、フローインジケータが動いていることを確認します ・マスク使用時は鼻呼吸にならないように注意する |
| ④ 息止め | <ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器から口を離し、口を閉じ、指折り5つ息を止める(無理のない程度で良い) | | <ul style="list-style-type: none"> ・肺により多くの薬を定着させるため |
| ⑤ 息吐き | <ul style="list-style-type: none"> □ 鼻からゆっくりと息を吐く | | <ul style="list-style-type: none"> ・口から吐くと速くなることもある |
| 繰返し | *複数回吸入する場合は①~⑤を繰り返す | | |
| ⑥ 後片付け | <ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器をスプレーから外し、吸入器およびスプレーのキャップをしっかりと閉じる | | <ul style="list-style-type: none"> ・キャップを閉じる前に吸入口を拭く ・1週間に1度程度スプレーを洗浄して下さい。 |
| ⑦ うがい | <ul style="list-style-type: none"> □ 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う | | <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す |

※1患者吸入指導テキスト(大林浩幸著、協和企画)より著者の許可を得て使用

きちんと吸入し、発作や息切れの悪化を予防しましょう！

保険調剤薬局名(薬剤師名) : _____ 年 _____ 月 _____ 日